

国連（ユネスコ）の世界会議が 2014年秋に愛知・名古屋で開催！

国連が定めた「持続可能な開発のための教育（E S D）の10年」の最終年にあたる2014年に、10年間のE S Dの取組の成果などを取りまとめる最終年大会が、愛知・名古屋で開催されます。

開催地として、2005年の愛知万博、2010年のC O P 10の開催経験を活かして、会議の円滑な運営をサポートするとともに、会議の開催をきっかけに、E S Dの普及啓発とこの地域の未来を担う人づくりを積極的に行っていきます。

「国連E S Dの10年」最終年大会の概要

- 開催時期：2014年秋
- 開催場所：愛知・名古屋
- 主催：国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）、日本政府
- 参加規模：1,000人規模（ユネスコ加盟国は195カ国 2012年5月現在）
- 内容：各国の10年間のE S Dに関する取組の報告や取りまとめなど
- 形式：閣僚級会合、全体会合、分科会など

このほかに、岡山市では各種ステークホルダー（国連機関、研究者、学校関係者、民間企業、NPOなど）の会合が開催されます。



名古屋国際会議場（会場予定地）

1 はじめに…

■ 「持続可能な開発のための教育」(E S D)とは

持続可能な社会づくりの担い手を育む教育

環境、貧困、人権、平和、開発といった、現代社会の様々な課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そして、それにより持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動のことです。

E S Dは、E ducation for S uustainable D evelopment の略。

■ 「国連E S Dの10年」とは

E S Dの取組を世界中で積極的に行う2005年～2014年までの10年間のこと。日本が提唱し、第57回国連総会（2002年）で決議され、ユネスコが推進機関となっています。

この10年間の各国の取組の成果などを取りまとめる会議が2014年の「国連E S Dの10年」最終年大会です。




E S Dの概念図

関連する様々な分野を“持続可能な社会の構築”の観点からつなげ、総合的に取り組むことが必要です。

※ 出典：「ユネスコスクールと持続発展教育」（日本ユネスコ国内委員会）

2 最終年會合に向けた歩み

2002年	<ul style="list-style-type: none">・持続可能な開発に関する世界首脳會議（ヨハネスブルグ・サミット） 日本政府が“ E S Dの10年”を提唱・第57回国連総会 「 E S Dの10年」を決議	
2005年	<ul style="list-style-type: none">・「国連 E S Dの10年」が始まる（～2014年まで） （「愛知万博」の開催）	
2009年	<ul style="list-style-type: none">・「国連 E S Dの10年」世界會議（中間年會合）[ボン（ドイツ）] 日本政府が「国連 E S Dの10年」最終年會合の開催意思を表明・第35回ユネスコ総会 2014年の最終年會合を日本で開催することを決議	
2010年	（生物多様性条約第10回締約国会議（C O P 10）の開催）	
2011年	<ul style="list-style-type: none">・1月 愛知県が最終年會合の誘致を表明・9月 政府の関係省庁連絡會議において、「閣僚級會合及び全体の取りまとめ會合」を 愛知・名古屋で開催することを決定・11月 開催地元支援準備委員會を設立	
2012年	<ul style="list-style-type: none">・5月 「国連持続可能な開発のための教育の10年」最終年會合あいち・なごや支援実行委員會を設立	

ボンでの中間年會合

支援実行委員會

名 称：「国連持続可能な開発のための教育の10年」最終年會合あいち・なごや支援実行委員會

設立時期：平成24年5月25日

設立目的：最終年會合の開催支援、E S Dの普及啓発、取組促進

会 長：愛知県知事 会長代行：名古屋市長

副 会 長：名古屋商工会議所会頭、中部経済連合会会長

委 員：愛知学長懇話会代表幹事、中部 E S D拠点代表、内閣官房内閣審議官、
外務省地球規模課題審議官、文部科学省国際統括官、環境省総合環境政策局長、
愛知県市長会会長、愛知県町村会会長、愛知県教育委員会教育長、
名古屋市教育委員会教育長、愛知県副知事、名古屋市副市長、
名古屋商工会議所専務理事、中部経済連合会専務理事



3 開催地の役割と目指すもの

万全の態勢で、會議運営をサポートするとともに、會議の開催をきっかけとして、愛知・名古屋の魅力を世界に発信します。また、E S Dの普及啓発や取組を促進し、最終年會合に向けた開催機運を盛り上げます。

會議支援

会場、警備、宿泊などの支援態勢を整え、安全・安心で円滑な會議運営をサポートします。

愛知・名古屋のPR

ボランティアによる参加者へのおもてなしや、歴史、文化、ものづくり、豊かな自然といった愛知・名古屋の魅力を世界に向けて発信します。

E S Dの普及啓発

啓発イベントなどとおして、E S Dについての理解の浸透と最終年會合の周知を図り、會議開催の機運を盛り上げます。

E S Dの取組促進

最終年會合開催地として、ユネスコスクール加盟校を増やすなど、E S Dの取組を促進します。

- 2014年秋「国連 E S Dの10年」最終年會合（愛知・名古屋）を成功させよう！ -

F S C 認証ロゴ

このリーフレットは、以下の URL より電子データとして取得できます。
積極的にご活用ください。
<http://www.pref.aichi.jp/0000047037.html>

「国連 E S Dの10年」最終年會合あいち・なごや支援実行委員會事務局
電 話：052-954-6627（ダイヤル）FAX：052-954-6914

(2012年5月)